

開封日 年 月 日

500mL

外用殺菌消毒剤

# イソプロパノール「マルイシ」

## Isopropanol「Maruishi」

日本薬局方

イソプロパノール

99 vol%  
以上

うすめて使用

製造販売元


**丸石製薬株式会社**

大阪市鶴見区今津中2-4-2

イソプロパノール「マルイシ」

500mL

2014年9月改訂(第2版)	
日本標準商品分類番号	872615
承認番号	16100AMZ00958
薬価収載	1959年10月
販売開始	1959年10月
再評価結果	1983年4月

貯 法：気密容器に入れ、火気を避けて保存。  
使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

### ●禁忌(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜[損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。]

### ●組成・性状

#### 1.組成

イソプロパノール(C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O)99 vol%以上 含有。

#### 2.性状

無色透明の液で、特異なおいがある。  
水、メタノール、エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和する。  
本品は燃えやすく、揮発性である。  
比重  $d_{20}^{20}$ : 0.785~0.788

### ●効能・効果

手指・皮膚の消毒、医療機器の消毒

### ●用法・用量

通常、イソプロパノールとして、50~70%液を用いる。

### ●用途

試薬等として用いる。

### ●薬効薬理

本剤は、使用濃度において、栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び多くのウイルスに対する効果は期待できない。

### ●使用上の注意

#### 1.重要な基本的注意

- (1)本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
- (2)広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。[イソプロパノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]

#### 2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 <sup>(注)</sup>	発疹等
皮膚 <sup>(注)</sup>	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

#### 3.臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

#### 4.適用上の注意

投与経路：外用にのみ使用すること。

使用時：

- (1)同一部位(皮膚面)に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- (2)血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
- (3)合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- (4)引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。

製造番号

使用期限

火気厳禁

第 4 類  
アルコール類  
水溶性  
危険等級Ⅱ



キャップ：PP

ガラス：瓶

〈調剤包装単位用コード〉



(01)04987211207519

〈販売包装単位用コード〉



(01)14987211107519

開封日 年 月 日

16L

外用殺菌消毒剤

イソプロパノール「マルイシ」

Isopropanol 「Maruishi」

日本薬局方

イソプロパノール

99 vol%  
以上

うすめて使用

2015年4月改訂(第2版)	
日本標準商品分類番号	872615
承認番号	16100AMZ00958
薬価取載	1959年10月
販売開始	1959年10月
再評価結果	1983年4月

貯法：気密容器に入れ、火気を避けて保存。  
使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

- 禁忌(次の部位には使用しないこと)  
損傷皮膚及び粘膜[損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。]

## ●組成・性状

- 組成  
イソプロパノール(C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O)99 vol%以上 含有。
- 性状  
無色澄明の液で、特異なおいがある。  
水、メタノール、エタノール(95)又はシエチルエーテルと混和する。  
本品は燃えやすく、揮発性である。  
比重  $\rho_{20}^{20}$ : 0.785~0.788

## ●効能・効果

手指・皮膚の消毒、医療機器の消毒

## ●用法・用量

通常、イソプロパノールとして、50~70%液を用いる。

## ●用途

試薬等として用いる。

## ●使用上の注意

- 重要な基本的注意  
(1)本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。  
(2)広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。  
[イソプロパノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]
- 副作用  
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 <sup>(注)</sup>	発疹等
皮膚 <sup>(注)</sup>	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

## 3.臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

## 4.適用上の注意

投与経路：外用にのみ使用すること。

使用時：

- 同一部位(皮膚面)に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- 血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
- 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- 引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。

## ●薬効薬理

本剤は、使用濃度において、栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び多くのウイルスに対する効果は期待できない。

火気厳禁

第4類  
アルコール類  
水溶性  
危険等級II

キャプシール：PE

金属：缶、キャップ

製造番号

使用期限

製造販売元

丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

＜医薬品包装単位用＞  
JAN 4987211207553＜販売済包装単位用＞  
JAN 4987211107553